

個別施設計画

策定年月日

R5.9.29

1 対象施設・施設概要					
施設情報					
施設名称	気仙沼高等技術専門校	所管所属名称	産業人材対策課		
公共施設等総合管理方針施設分類					
大分類	公共用施設	中分類	学校	小分類	高等技術専門校
主要建物概要					
構造	鉄筋コンクリート	用途	校舎	建築日	1974/8/5
経過年数	49年	耐用年数	47年	目標使用年数	61年
運営方式	直営	管理者名称	産業人材対策課	全延床面積(m ²)	2,449
所在地	気仙沼市大峠山1-174				
2 計画期間					
令和5年度から令和32年度までとする。					
3 点検・診断によって得られた個別施設の状態					
別添「保全点検結果報告書」のとおり。					
4 当該施設の必要性					
設置根拠規定等	職業能力開発促進法第15条の7 第1項 職業能力開発促進法第16条 第1項		必要性の有無	有	
業務内容	新規学卒者、在職者、離転職者に対し、就業に必要な職業能力を開発、向上させることにより、県内産業の発展に必要な技能労働者を養成する。				
必要性の判断理由	産業界から技能労働者の養成が求められており、富県躍進に向けたものづくり産業における人材育成を図る施設としての必要性は高い。				
5 施設ごとの今後の対策					
管理に関する基本的な考え方を踏まえた施設の管理方針	<p>県立高等技術専門校は、県内にある5校を1校に再編し、現在の仙台校敷地に建物を新築、改修して、令和10年度に高技専を開校する予定である。</p> <p>気仙沼校は令和9年度に閉校を予定しているが、それまでの間、職務遂行に当たり必要不可欠な施設であり、適正な維持管理が必要である。点検・補修結果について、施設保全に活用し、修繕・更新を行うことで、今後も適切な維持管理に努める。</p> <p>令和10年度の新たな県立高等技術専門校開校後の施設の利活用については未定であるため、目標使用年数は、宮城県公共施設等総合管理方針における推計条件を準用し、法定耐用年数の30%増とする。</p>				
施設間・対策間の優先順位の判断内容	<p>改修履歴 令和3年度：照明設備更新工事 令和5年度：高圧気中開閉器交換工事を予算要求した。</p> <p>今後においては、県有建築物保全点検結果報告書の判定Dを優先に次にC判定の修繕が必要と考える。</p> <p>D判定 ・本館：2階ベランダ手摺隅部に亀裂があり、外的要因により破片等の落下の恐れがある。</p> <p>C判定 ・本館：軒裏及びベランダ床の下端の鉄筋が露出している。 外装材の浮き、剥がれやひび割れが全体的に見られる。 電灯分電盤、動力分電盤の機能が低下している。 コンクリート受水槽を現在の基準に適合した地上式受水槽等への改修が必要。</p> <p>・倉庫ガレージ：柱脚部に腐食が見られる。</p>				
6 対策内容、時期及び概算費用					
「中長期保全計画表」、「短期保全計画表」のとおり					
7 財源内訳					
別添「【気仙沼高技専】個別施設計画に係る概算費用等」のとおり					

